



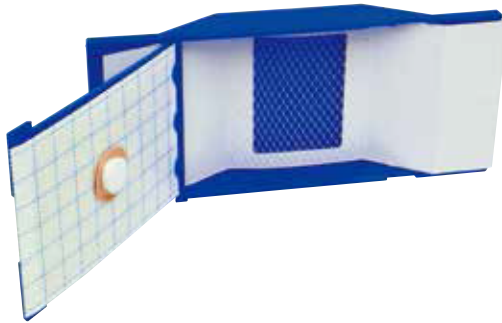
ECOMONE

TORIOS®

トリオス

徘徊性貯穀害虫を 対象としたモニタリング用 フェロモントラップ

トリオスは粉塵が入りにくい構造のため、食品工場・製粉工場・飼料工場・倉庫などにおける徘徊性貯穀害虫のモニタリングに適しています。



対象害虫

- ①コクヌストモドキ
- ②ヒラタコクヌストモドキ
- ③コナナガシクイ
- ④ノコギリヒラタムシ
- ⑤ヒメアカカツオブシムシ
- ⑥カクムネチビヒラタムシ
(カクムネヒラタムシ)
- ⑦コクゾウ

※対象害虫ごとにルアーの種類が異なります

リユース型

トラップと粘着紙を別にし、トラップのリユースを実現しました。
また、粘着紙とルアーのみの交換により、ゴミの排出量を大幅に軽減しました。

汎用トラップ

ルアーの種類を替えるだけで、多くの徘徊性貯穀害虫を対象としたモニタリング用フェロモントラップとして利用できます。

操作性の高いトラップ

害虫の捕獲方法を従来のオイル方式から粘着方式にして操作性を向上させました。捕獲数のカウント及び粘着紙の交換が容易です。

製品仕様

トラップセット

- ・ トラップ 50個
- ・ { ルアー 5シート：50個
- ・ { 粘着紙 50枚

※ノコギリヒラタムシ用は、ルアーが2種類あります。

ルアーセット

- ・ { ルアー 5シート：50個
- ・ { 粘着紙 50枚

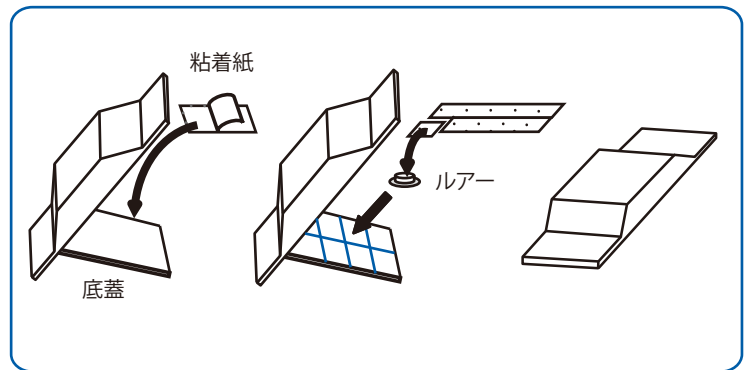
※ノコギリヒラタムシ用は、ルアーが2種類あります。

有機農産物のJAS規格別表等への適合性評価済み資材も取り扱っています。
詳しい製品情報についてはHPをご覧ください。

使用方法

《トラップの組み立て方》——右図参照

- ①トラップの底蓋を開け、
底蓋のつめに剥離紙を剥がした粘着紙を挿入して下さい。
- ②シートから、ルアーを1個取り出し、
粘着紙中央に貼り付けて下さい。
(ノコギリヒラタムシ用は、2種類のルアーを
各1個ずつ取り出し、貼り付けて下さい。)
- ③底蓋を閉め、ご使用下さい。



《トラップの設置方法》

- ①設置場所：床面に設置して下さい。
徘徊性貯穀害虫は壁際の床面を徘徊することが多いため、この場所に設置するのが効果的です。
- ②設置間隔：トラップを5～10mで設置することをお勧めします。
徘徊性貯穀害虫はもともと集合する習性があるため、トラップの設置間隔を広くすると捕獲効率が低下します。

《トラップの交換周期》

粘着紙とルアーは1ヶ月ごとに交換して下さい。
トラップは繰り返して使用できます。ただし、屋外で使用すると光や水で劣化が生じるのでご注意下さい。

保管方法

製品は有効期限内にご使用ください。直射日光を避け、暗所室温条件下で保管して下さい。
冷蔵庫や40℃を越えるような場所での保管は品質劣化の恐れがありますので避けて下さい。

取扱い上の注意

- ・この製品はモニタリング用資材です。この用途以外には使用しないで下さい。
- ・ルアーの透明なフィルムは破らないで下さい。
- ・ルアーは直接手で触れたり、食べないようにご注意下さい。
- ・子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ・廃棄する場合には地方自治体の条例に従って下さい。



富士フレイバー株式会社 エコモン事業部

〒205-8503 東京都羽村市緑ヶ丘三丁目5番地の8
TEL: 042-555-5186 FAX: 042-555-7920
<http://www.fjf.co.jp/jp/ecomone/>